

# 研究シーズ発掘補助金（札幌タレント補助金）

## 1 補助金の概要

### 【目的】

札幌の将来を担う研究者の優れたシーズを発掘し、札幌市内企業とのネットワーク形成につなげることを目的とします。

### 【対象となる研究開発】

「健康・医療分野」の研究開発

創薬、再生医療、医療機器、医療 IT・ロボット技術、診断技術、機能性食品・化粧品、リハビリテーション技術、ヘルスケア・スポーツ関連製品の開発などの技術シーズ創出につながる研究開発

### 【対象者】

札幌圏の大学・試験研究機関等（民間を含む）に所属する 40 才以下の若手研究者

※札幌圏：札幌市、小樽市、江別市、石狩市、余市町、千歳市、恵庭市、北広島市、南幌町、長沼町、当別町

※大学等の場合、ポストドク以上（博士研究員・助教・講師等）を対象とし、学生は不可とします。

※地方公共団体の試験研究機関・病院は不可とします。

◆**ノースタレント補助金**（※）に応募される場合でも、本補助金にも申請可能です。但し、本補助金との重複した採択はありません。

※**ノースタレント補助金**：北海道の地域振興や産業の発展につながる独創的な研究を担う若手研究者を支援する補助金です。申請書類の形式は、本補助金とほぼ共通の様式ですが、評価の観点ではそれぞれの補助金で異なります。

【研究期間】 補助金交付決定の日から **2023 年 3 月 15 日（水）** まで

※ただし、経費の執行は 2023 年 2 月 28 日（火）を期限とします。

【補助金額】 **40 万円以内**（補助対象経費の 10/10）

【採択予定件数】 **10 件程度**

【補助対象経費】

研究を遂行するために直接必要となる下記の経費を対象とします。

原材料・消耗品費※ <sup>1</sup>	研究の遂行に直接要する試薬、資材、部品、消耗品、書籍等の購入に要する経費
機器購入費※ <sup>1</sup>	研究の遂行に必要な機器・設備類の購入に要する経費
旅費※ <sup>2</sup>	研究に直接的に関わる研究者・研究補助者旅費、外部専門家・技術指導員等招聘旅費
その他経費	謝金・研究補助員賃金、通信・運搬費、施設及び機器・設備等賃借料、外注費（調査・分析・加工など）、その他研究の遂行に必要と認められる経費

※<sup>1</sup>：パソコン、プリンタ、コンピュータ周辺機器、デジタルカメラ、事務用品等の汎用物品は原則として補助対象外とします。やむを得ず必要となる場合は、必ず事前にご相談ください。

※<sup>2</sup>：交通費は実費（ただし、クラス J 等のプレミアムエコノミークラス、特別車両料金、特別船室料金、特別席料金等を除く）とします。宿泊費及び日当は、原則として各所属機関の規程によることとしますが、規程類が未整備の場合は実費を基に算定します。

次のものは補助対象経費となりませんので注意してください。

- ① 土地及び建物の購入または借上料等に係る経費
- ② 施設等の改造費、既存設備・機械の使用料、固定資産税、水道光熱費等
- ③ 食料費、接待費、会食費等の個人消費的経費
- ④ 他の用途との併用となっている旅費

## 2 応募の手続き及び受付期間（オンライン補助金申請システム）

### 【申請方法】

補助金申込書：様式1～5（ファイル形式Word）のデータを作成し、オンライン補助金申請システムにアップロードして下さい。

※システムのご利用にはアカウント登録（ID・パスワードの発行）が必要です。

### 【システム受付期間】

2022年4月8日（金）～2022年5月19日（木）18：00 締切

◆ オンライン補助金申請システムの利用方法は、以下のURLでご確認できます。

[https://www.noastec.jp/web/d\\_future/information.html](https://www.noastec.jp/web/d_future/information.html)

◇ 補助金申込書：様式1～5（ファイル形式Word）は、ノーステック財団のホームページ（[https://www.noastec.jp/web/d\\_future/index.html#jigyuu](https://www.noastec.jp/web/d_future/index.html#jigyuu)）からダウンロードできます。

※E-mail、FAX、郵便・宅配便、及びご持参による受付はできません。

※締切り直前は、補助金申請システムが込み合い、アクセスの制限をする場合がありますので、期限に余裕をもって申請されるようご協力願います。

【お問合せ先】：公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）  
研究開発支援部あて  
E-mail：[kenkyu@noastec.jp](mailto:kenkyu@noastec.jp) TEL：011-708-6392

## 3 審査及び採択後の手続き等

### 【選定方法】

選定に当たっては、当財団による要件審査を経て、当財団が組織する「審査委員会」において、「研究開発の先進性・優位性」及び、「札幌市のライフサイエンス産業振興への貢献の可能性」の観点から審査の上、決定します。

### 【内定】

2022年7月下旬を目途に採否を内定する予定です。採否の結果は、応募者全員にE-mailでお知らせします。

なお、補助金申請額の積算内容を精査し、その一部を減額させていただく場合があります。

### 【採択・公表】

採択された研究計画については、補助金交付決定後、当財団ホームページにて公表（研究開発テーマ名、研究開発の概要など）いたします。

### 【補助金の交付】

採択内定者には、当財団が定める補助金交付申請書を提出していただきます。詳しくは、内定通知時に改めてお知らせします。

#### 【補助金に係る経理】

- ・採択者に配布する補助金交付規程等に従って、補助金を適正に執行していただきます。
- ・補助金の管理責任は研究者が負います。
- ・ただし、原則として、補助金に係る経理事務（口座の管理、会計帳簿等への記帳・管理保管、機器設備等財産の取得および管理等）については、研究代表者から所属機関の事務局に委任していただきます。

## 4 研究開発実施上の留意点

#### 【 報告書等の提出 】

- ・年度末に、以下の書類を提出していただきます。
  - 補助事業精算報告書（2023年2月28日まで）
  - 研究成果報告書（2023年3月15日まで）
- ・提出いただく報告書の様式等は、補助金内定通知の際に併せて通知します。
- ・また事業終了後、研究成果に関するフォローアップ活動にご協力いただきます。

#### 【 研究成果の公表 】

- ・研究の成果は、公表を原則としておりますので、提出いただいた研究成果報告書は、関係各機関等に配布するとともに、当財団のホームページに掲載させていただく予定です。ただし、特許出願などの知的財産戦略上、支障がある場合は申し出てください。
- ・本事業の目的に即して、当財団が実施する企業とのマッチングを目的とした意見交換会に参加して発表していただきます。
- ・その他、札幌市や当財団が実施する成果報告会、セミナー等で発表していただく場合もございますので、ご協力願います。

#### 【 知的財産権の帰属 】

本事業により生じた研究成果は、研究者に帰属しますが、特許権等の知的財産権の取扱いについては、原則として、所属する大学・研究機関等の規定等に従ってください。

#### 【 ネットワークの形成 】

本事業の目的に即して、当財団が実施するネットワーク支援・産学連携・交流会等への参加をお願いすることがあります。当財団では、産学連携等のネットワーク作りを進めて参ります。

( 様式 1 )

整理番号

年 月 日

2022年度 ノーステック財団  
「札幌ライフサイエンス産業活性化事業」  
研究シーズ発掘補助金（札幌タレント補助金）申込書

本書のとおり研究課題を提案いたします。

【 応募区分】

事業名	補助金名	研究分野
札幌ライフサイエンス産業 活性化事業	研究シーズ発掘補助金 (札幌タレント補助金)	健康・医療分野

※ノースタレント補助金に応募される場合でも、本補助金に申請可能です。

【 研究開発テーマ】

研究開発テーマ名	(30字程度)
研究キーワード	
研究開発の概要 (150字以内・ <u>字数厳守</u> )	

【 研究者の連絡先】

(フリガナ) 氏名	年齢	所属機関名 / 役職名
( )	歳	
連絡先	(勤・自) 電話番号 ( ) E-mail :	

【 他の助成制度での実施 (現在申請中のものを含む) の有無】

※共同研究者として参画している場合も含む (複数回答可)

※本年度のノースタレント補助金に応募 (併願) する場合も記載してください。

<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有		
<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 申請中		
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	年 月 ~ 年 月	助成金額	
<input type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 申請中		
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	年 月 ~ 年 月	助成金額	

## ◆ 記載要領（様式 1）

### 1. 研究分野

本補助金の対象となる研究開発分野は、健康・医療分野です。

※健康・医療分野：創薬、再生医療、医療機器、医療 IT・ロボット技術、診断技術、機能性食品・化粧品、リハビリテーション技術、ヘルスケア・スポーツ関連製品などの技術シーズ創出につながる研究開発

### 2. 研究開発テーマ

(1) 研究開発テーマ名： **30 字程度**で表現してください。

(2) 研究キーワード： 4 つ程度記載してください（審査を行うための分野分類の参考とします）。

(3) 研究開発の概要： 研究開発テーマの詳細をコンパクトにまとめ、**150 字以内**で表現してください。

### 3. 研究代表者

(1) 氏 名： フリガナは必ずふってください。

(2) 所属機関名／役職名： 所属機関名には所属部署まで記載してください。

(3) 連絡先： 日中連絡が取れる連絡先（TEL、E-mail）を記載してください。

### 4. 他の助成制度での実施の有無（共同研究者として参画している場合も含む。）

本提案の研究内容と関連性・類似点があると思われるテーマで他の助成制度を実施している場合（既に終了したもの、現在申請中のものを含む）は、その助成機関、助成制度、課題名、期間（予定を含む）、金額を記載してください。同様の研究開発テーマで、本年度のノースタレント補助金に応募（併願）する場合も記載してください。

※当財団で採択したものと同一趣旨の申請テーマを、他の助成制度で実施している場合は、当財団の採択を辞退していただくことがあります。

( 様式 2 )

**【 研究開発テーマの詳細 】**

研究開発テーマの背景及び目的
関連する研究分野の動向
研究開発の内容及び方法
研究開発成果の今後の展開、札幌市内企業との連携

◆ **記載要領 (様式 2)**

**1. 研究開発テーマの詳細**

- (1) **研究開発テーマの背景及び目的**： 研究開発の必要性、波及性などにも触れて記載してください。
- (2) **関連する研究分野の動向**： 提案者自身が把握している関連研究分野の動向と、その中での本研究開発テーマの位置づけに触れて記載してください。
- (3) **研究開発の内容及び方法**： 独創性、新規性などにも触れ、具体的に記載してください。
- (4) **研究開発成果の今後の展開、札幌市内企業との連携**： 研究成果から想定される今後の展開について、産業振興への貢献の視点に立ち、札幌市内企業との連携意向にもできるだけ具体的に触れながら、記載してください。

※様式2全体で、2ページ以内で記載してください。

( 様式 3 )

【 研究者の詳細 】

(フリガナ) 氏 名		所属機関名		役職名	
所属住所				所属電話番号	
〒				( )	
生 年 月 日		年 月 日 ( 歳)			
略 歴	年 月		(最終学歴)		
	年 月				
	年 月				
	年 月		現在に至る		
所属学会 (役職名)					
主たる研究・技術開発分野					
研究・技術開発キーワード					
過去の研究・技術開発実績 (著書、研究論文、特許等)					
過去の助成実績					

◆ 記載要領 (様式 3)

研究者の詳細 :

- (1) 氏 名 : フリガナは必ずふってください。
- (2) 生年月日 (年齢) : 西暦で記載してください。
- (3) 所属機関名 / 役職名 : 所属機関名には所属部署まで記載してください。
- (4) 略 歴 : 最終学歴、主な職歴等を記載してください。
- (5) 所属学会 (役職名) : 主なものを3つまで記載してください。役職に就かれている場合はカッコ書きでその役職名を記載してください。
- (6) 研究・技術開発キーワード : 主なものを3つまで記載してください。
- (7) 過去の研究・技術開発実績 : 代表的な著書及び研究論文について、題名、発表誌、出版社名等を記載してください。特許等については、名称及び出願番号を記載してください。著者名が多数にわたる場合、数名を記載し以下を省略してください。その他、これまで行ってきた研究・技術開発に関して適当な著書、研究論文、特許について該当がない場合は、その旨を記載してください。
- (8) 過去の補助実績 : 過去3年間において省庁・自治体・その他助成機関等から補助金の交付を受けた研究について、交付年度、課題名、成果概要、省庁・自治体・機関名、制度名、補助金額を年代の新しい順に記載してください。

( 様式 4 )

【 研究開発費の内訳 】

(単位：円)

経費区分	研究開発費 (補助申請額のみ)	積算内訳 (単価・数量・使用目的等)
原材料・ 消耗品購入費		
機器購入費		
旅 費		
そ の 他 経 費		
合 計		

◆ 記載要領 (様式 4)

1. 積算内訳: 研究開発費総額に対し、支出科目ごとに単価・数量・使用目的等を具体的に記載してください(書ききれない場合は、別葉としてください)。



( 様式 5 )

【その他】

◆ 記載要領 ( 様式 5 )

1. その他 : フリー・シートです。当該研究開発の重要性等について、指定様式で表現しきれなかった事項をご自由に記載してください (ただし、1~2 ページ程度とします)。

- e.g.
- ◆ 研究内容を図示するなどして、審査員の理解の助けとする。
  - ◆ 現在までの自己又は他の研究者の類似研究とその相異を明らかにし、今回応募した研究開発の独創性、実現可能性などを明らかにする。
  - ◆ 指定様式では欄が狭くて書ききれなかったものを追加で記載する。Etc

【その他注意事項】

- (1) 同一の研究者が今回の公募で、**札幌タレント補助金**に応募できる申込は1件に限ります。
- (2) 研究者が、既に他の助成を受けており、その研究に100%専念する義務がある場合は、応募できません。
- (3) 各様式とも手書き、切り貼りしたものは一切受けません。
- (4) 著書・論文等の参考資料につきましては、必要な場合こちらから請求しますので、添付しないでください。